

2017年12月11日

東大臨床検査セミナー2018 輸血
テーマ：周術期輸血の実際と症例からみる輸血検査の進め方

概要

主催：東京大学医学部附属病院 輸血部

日時：2018年2月10日（土）12時30分～17時30分

会場：東京大学医学部教育研究棟 13階 第6セミナー室

受講料：無料

定員：100名

プログラム

12:00～ 受付

12:30～ 開講式

12:35～13:25 周術期自己血輸血はなぜ推奨されるのか？

-自己血輸血のメリット、適応、限界について-

東京大学医学部附属病院 輸血部 池田 敏之 先生

(5分休憩)

13:30～14:20 麻酔科医の観点からの周術期輸血

東京大学医学部附属病院 輸血部 寺田 類 先生

(5分休憩)

14:25～15:15 HLA、HPAの基礎

埼玉県立大学 健康開発学科 検査技術科学専攻/大学院研究科 松橋 美佳 先生

(15分休憩)

15:30～17:00 症例検討

① 初回 ABO 血液型が判定できない症例

東京大学医学部附属病院 輸血部 名倉 豊

② 血小板輸血の効果が得られない症例

東京大学医学部附属病院 輸血部 中村 潤子

17:00～ 閉講式

申し込み方法

以下のリンク（Google フォーム）よりアクセスし申し込みをお願いします。

<https://goo.gl/forms/1wlvfQblxsXRHHsC2>

QR コードからもアクセス可能です →

申し込み締め切り：2018年1月10日

（なお受講希望者が多数の場合、抽選とさせていただきます）

受講の可否：2018年1月17日までにメールにてご連絡します。

